

文科省 教育課程 特例 教科「安全科」15時間 / 各学年年間  
 大阪教育大学附属池田小学校 安全教育カリキュラム

<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 1年生	<input checked="" type="checkbox"/> 2年生	<input checked="" type="checkbox"/> 3年生	<input checked="" type="checkbox"/> 4年生	<input checked="" type="checkbox"/> 5年生	<input checked="" type="checkbox"/> 6年生
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 災害安全	<input type="checkbox"/> 生活安全	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全	<input type="checkbox"/> 情報モラル	<input checked="" type="checkbox"/> 安全科	<input type="checkbox"/> 他教科領域

報告  
 OSCN  
 片山昇

1年生 歩行者 1

- 4月
- ・小学生が歩行者として被害を受ける交通事故の多さを知る。
  - ・小学生の事故が多い理由を考える。
  - ・通学時の様子を交流し、潜在的な危険に気づく。

交通事故の現状

春に交通安全教室で、安全な歩き方を体験しながら学習している。加えて、交通事故の現状を知ることは、より安全に歩く意識を高めるものと考えられる。歩行者の事故の中でも、小学生が関わるものは著しく多い。特に通学時間帯である。資料から小学生の事故が多い理由を考えることで、1年生なりに自分の通学のしかたを見直してほしい。

1年生 歩行者 2

- 4月
- ・資料から、事故が起きやすい場所を読み取る。
  - ・事故が起きやすい理由を考え、事故を起こさないためにどのような歩き方をすべきか具体的に考える。

事故が起きやすい場所

資料から、事故が起きやすい場所を読み取り、実生活へと結びつけていく。事故が起きやすい理由を考えることで、その場所で気を付けなければいけないことが見えてくる。事故は大げがにつながる大変なものだということを理解させ、周りを見て歩く、おしゃべりに夢にならないなど、普段の歩き方を振り返って、今後の改善方法を具体的に考えさせる。

1年生 交通ルール・マナー 1

- 9月
- ・安全な歩行や横断をしようとする態度を育てる。
  - ・安全な横断のしかたを考えることができる。
  - ・不十分な安全確認は交通事故につながることを理解する。

道路の安全な歩き方

1年生は、春に交通安全教室を行い、警察署員から道路での歩き方や横断のしかたを聞き、実際に体験した。しかし、日々の道路での歩き方は、まだまだ衝動的に行動していることが多く、危険を伴うことが多い。そこで、もう一度、教室で交通安全ルールを見つめ直し、交通事故から身を守り、安全な生活しようとする態度を育てることが大切である。

1年生 交通ルール・マナー 2

- 10月
- ・信号を守り、安全に横断歩道を渡ろうとする態度を育てる。
  - ・横断歩道の渡り方を考えることができる。
  - ・様々な場所で信号の守り方を理解する。

横断歩道の安全な渡り方

普段、信号機や横断歩道を見ているにも関わらず、それぞれの意味や仕組みを知らないことが多い。その仕組みや意味を知ってこそ、交通安全の意識が芽生え、育つはずである。また、頭では理解していても、行動できるかどうかは、別問題である。この学習を通して、学習したことをしっかりと実践できる子供にしていきたい。

1年生 交通ルール・マナー 3

- 10月
- ・公共交通機関に安全にマナーよく乗車しようとする態度を育てる。
  - ・公共交通機関の利用のしかたを理解するとともに、みんなに迷惑のかけない利用法についてどうすればよいか話し合う。

公共交通機関のルール・マナー

子供は、登下校だけでなく、プライベートなどの様々な場面で、電車やバスなどの公共交通機関を利用している。その際、自分達のことしか考えずに他の乗客に迷惑をかけていることが社会問題になっている。様々な利用者の立場に立って、迷惑をかけないようにするために、何をしなければいけないのか、何ができるのかについて考えなければいけない。

1年生 交通ルール・マナー 4

- 11月
- ・通学路で安全を守ってくれている人やものに関心をもつ。
  - ・安全を守っている人やものはたらきについて、考え、その意味を理解する。

通学路の人やもの

写真や映像などを用いて、客観的に登校している通学路を見つめ直す活動をすることで、今まで気づけなかった安全を守ってくれている人（立ち当番や見守り隊）やもの（標識や施設など）のはたらきに気づかせる。本時の学習により、これらに対して、指示通り従って行動する

受動的なかわり方であったものが、主体的なかわり方に変わるのが大切である。

2年生 交通ルール・マナー 1

9月

- ・様々な場面での交通事故の事例について、原因を考える。
- ・原因について考えたことから、危険を回避するために方策を考える。

児童の実体験からの再現学習

子供の「ヒヤリ、ハット体験」から考える。まず、状況を把握し、原因を考える。その原因を回避するために自分たちができることを実体験した時の意見や類似体験した時の意見なども取り上げ、比較しながら、原因について掘り下げて考えさせる。理想論や建前で考えるのではなく、危機感や緊迫感をもたせて話し合いをさせることが重要である。

2年生 交通ルール・マナー 2

9月

- ・交通事故の発生状況を冷静に振り返ることができる。
- ・もの、人、環境の要因によって交通事故が発生することを理解し、登下校がより安全になるよう努力する。

交通事故事例からの再現学習

実際に大阪府下で起こった交通事故の事例から考える。交通事故はただ運が悪いからだけではなく、必ず何らかの原因があることが多い。もの、人、環境の要因を知り、それらの要因に気づかせることにより、同じような交通事故を予測できる力を身につけさせ、交通事故を回避させ、日々の交通安全につなげていきたい。

2年生 交通ルール・マナー 3

10月

- ・公共交通機関に安全にマナーよく乗車しようとする態度を育てる。
- ・公共交通機関の利用のしかたを理解するとともに、みんな気持ちよく利用する方法についてどうすればよいか話し合う。

交通ルールの徹底・マナーの向上

子供は、様々な場面で電車やバスなどの公共交通機関を利用することがあるであろう。利用するすべての人にとって、気持ちのいいために、人として、小学2年生として、何をしなければいけないのか、何ができるのかについて考えなければいけない。お年寄り、障害者、妊婦さんなどのことを考え、乗客することで、みんなが利用しやすい公共交通機関になることを気づかせたい。

2年生 交通ルール・マナー 4

11月

- ・学習したことから、道路での歩き方やバス・電車の乗り方を振り返り、自分たちでできることについて考える。
- ・学校見守り隊として、地域の人にアピールする。

学んだことを発信

交通ルールやマナーについて、学んだことを、高学年の子供、保護者の方、地域の方に対して、ペープサートや寸劇などを用いて発信していく。それらの発表するものを創作する中で、学習したことを再構築することができる。そして、2年生が行動を起こすことで、他の学年に派生し、学校全体に交通ルールとマナーの徹底とそれらの向上することをねらっている。

2年生 歩行者 2

1月

- ・歩道をすれ違う人にはさまざまな人がいることを知り、歩き方を考えることができる。
- ・考えた歩き方を実生活に生かそうとしている。

安全な歩き方 2

歩行者同士が歩道ですれ違うとき、どのようなことに気をつければよいか。自転車とすれ違うなら歩行者が優先であるが、歩行者同士の場合はどうなのか。例えば、妊婦の方とすれ違うとき、小さな子供とすれ違うとき、お年寄りとすれ違うとき、小学生であっても道をゆずらなければならないときがあることを知り、安全な歩き方について再考させる。

2年生 歩行者 1

3月

- ・事故が起きやすい場所の安全な歩き方を考えることができる。
- ・危険を予測して行動に移すことができる。

安全な歩き方

事故が起きやすい場面（曲がり角や停車中の車の横など）を実際に電子黒板やプロジェクターで表示し、危険を予測する。どこが危険で、どのように歩けば安全かをグループで話し合い、危険を予測する視点をできるだけ多く共有させたい。各グループで役割演技などによって発表すると、より具体的場面を想起して考えを深めることができるだろう。

3年生 歩行者

4月

- ・駅の中・歩道橋・国道沿い・住宅街など、具体的な場所の写真から、「安全な歩き方」を考えることができる。
- ・立場をかえて考えることで、より安全な歩行を実践しようとする意欲を高める。

通学安全チェック

通学の写真を見て、自分の歩き方を振り返り、自己評価させる。どうして静かに歩いたほうがいいのか、どうして走ってはいけないのか、どうして1列で歩かなければならない場所なのか、マナーやルールの理由を具体的に考えることで、自分以外の歩行者や運転者、地域の方の存在を意識し、よりよい歩き方を実践する意欲を高めさせたい。

- |           |    |  |
|-----------|----|--|
| 3年生 自転車   | 7月 | ・自転車の交通ルールを理解する。<br>・自転車に乗るための安全点検の仕方を知る。<br>・どのようなことに気をつけたら安全に走行できるかを考える。 |
| 自転車の交通ルール |    |  |

自転車の交通ルールはここ最近で大きく変更されている。これは、自転車事故の件数が増加したためである。子供が正しいルールを知ることや、安全に走行するための安全点検の仕方を学ぶことは大切である。そのうえで、自転車に安全に乗るには一人ひとりが何を気をつけたらよいかを考えさせる。また、学校で乗る機会は少ないので家庭にも周知し自転車に乗る機会をつくるよう声かけをしたい。

- |                 |     |   |
|-----------------|-----|---|
| 3年生 交通ルール・マナー   | 12月 | ・シートベルト・チャイルドシートの効果・必要性を理解し、装着する態度を養う。<br>・正しい装着法を理解し、装着できるようになる。 |
| シートベルト・チャイルドシート |     |   |

交通事故による死者のうち、シートベルトを着用していれば、被害が軽減させたとと思われるものが多い。そのようなことを食い止めるためにも、子供達にシートベルトやチャイルドシートなどの正しい装着法を学習させる意味は大きい。学習・体験したことを家族に伝え、話し合うことで、家族全員がシートベルトの大切さを再認識する機会になることをねらっている。

- |           |     |  |
|-----------|-----|--|
| 4年生 自転車   | 10月 | ・危険を予測して回避することの必要性を理解する。<br>・自転車運転者の立場だけでなく他の立場の行動も理解する。<br>・普段の生活において危険な場所がないかについて話し合う。 |
| 自転車での危険予測 |     |  |

自転車に乗っていると交通ルールは守っているのに事故にあうことがある。それは危険予測をせずに走行しているからだ。自転車走行のシミュレーションや危険予知トレーニングを通して、周りの状況から危機を予知し、回避することの大切さに気付かせたい。シミュレーションの際は、立場を変えて考えることで安全に対する認識の幅も広げさせたい。

- |               |     |   |
|---------------|-----|---|
| 4年生 交通ルール・マナー | 11月 | ・様々な場面に隠れている危険を考える。<br>・交通事故を防ぐために、早く危険に気づき、正しい判断をして、安全に行動できるようにする。 |
| 交通事故の防止       |     |   |

歩行者や自転車を操作する立場だけではなく、自動車の運転手の立場に立って、自動車の内輪差や死角なども学習することで、様々な視点から交通事故を防ぐために自分たちができることを考えさせる。それをふまえて、一人の人間として、交通事故を防ぐための行動を率先してできるような態度を養う必要がある。

- |             |    |   |
|-------------|----|---|
| 5年生 自転車     | 3月 | ・自分が加害者になることもあるということを自覚する。<br>・自転車の罰則について理解する。<br>・加害者にならないためにどうすればよいかを考える。 |
| 加害者にならないために |    |   |

近年、子供が自転車事故を起こし、賠償請求されるケースがある。被害者になることはあっても加害者になることはないと思込んでいる子供にとって、このようなケースを知ることが必要である。自分の運転で相手の命を奪ってしまう危険性を知ることや、厳しくなった罰則についての知識を得ることで、自分や他の命を守る心も育てたい。

- |          |    |   |
|----------|----|---|
| 6年生 自転車  | 9月 | ・交通標識の種類や意味を理解する。<br>・映像を見て、危険な所や気をつけるべき点について話し合う。<br>・映像を見て、正しい走行の仕方を理解する。 |
| 標識の意味を知る |    |   |

本校の6年生は遠足でサイクリングをする。普段は自転車に乗る機会のない子供もいるので、学校で実際に練習も行う。自転車に乗るうえで確認しなければならない標識や実際の走行の際の規則についても理解する必要がある。遠足場所の実際の映像を通して、事故が起きやすい場所や標識を確認すべき所などを主体的に話し合わせたい。

紹介：OSCN 片山昇

令和2(2020)年度 大阪教育大学池田地区附属学校研究発表会

附属池田小中高共同研究テーマ

# 社会とつながり、 明日を切り拓く資質・能力の育成 ～探究のプロセスの構築～



小中高・大学の教員が協働して  
研究課題に取り組んでいます。

参加費  
無料

参加  
申し込み  
必須

令和3年(2021年) 1月23日(土) ~ 2月7日(日)

オンライン上で公開 (録画・編集した授業動画)

場所：大阪教育大学附属池田小学校・附属池田中学校・附属高等学校池田校舎  
〒563-0026 池田市緑丘1-5-1 TEL (072)761-3591 FAX (072)761-3594

主催：大阪教育大学池田地区附属学校

後援：大阪府教育委員会・兵庫県教育委員会阪神教育事務所・大阪市教育委員会・池田市教育委員会

## 公開授業 (小学校)

学年	教科等	単元・題材・主題名	授業者	指導助言者
小学4年	国語	国語辞典に親しもう ～国語辞典に挑戦～	馬場 廣之	大阪教育大学 住田 勝
小学1年	算数	ひきざん(2) ～自ら発見・創造する繰り下がりのあるひき算の計算方法～	森村 俊輔	大阪教育大学 柳本 朋子 松本 明美
小学6年	社会	明治の国づくりを進めた人々 ～あなたは開国派?鎖国派?～	境 建人	大阪教育大学 峯 明秀
小学5年	理科	とかしたものを取り出せる? ～水の温度が下がると…～	工藤 健司	大阪教育大学 仲矢 史雄
小学5年	体育	スリータッチボール ～みんなでつなぐおもしろさ～	富本 浩史	大阪教育大学 井上 功一
小学6年	安全	自転車 ～安全で快適なサイクリングに向けて～	山崎 雅史	國學院大学 田村 学
小学3年	道徳	きよしのなやみ	森光 利海	大阪教育大学 金光 靖樹

## 公開授業 (中学校)

学年	教科等	単元・題材・主題名	授業者	指導助言者
中学1年	英語	Lesson6 My Family ～Withコロナ時代のつながり～	中田 未来	大阪教育大学 加賀田 哲也
中学1年	保健 体育	ポッチャ ～共生社会の形成に向けて～	森田 直樹	大阪教育大学 井上 功一
中学1年	社会	持続可能な社会における経済成長とは	西邑 悠佑	大阪教育大学 峯 明秀
中学1年	道徳	加山さんの願い ～批判的思考力を活用する道徳学習～	中塚 麻衣子	大阪教育大学 金光 靖樹
中学1年	理科	大地が火を噴く ～マグマからできた岩石～	藤井 宏明	大阪教育大学 仲矢 史雄
中学2年	数学	データの活用 箱ひげ図を用いたデータの分布の比較	塩田 和也	大阪教育大学 瀬尾 祐貴
中学2年	総合	探究的な学習を通してコロナウイルスを 多面的・多角的に捉え、考える	三好 達也	國學院大学 田村 学
中学3年	国語	漢文 ～典故を求める探究学習～	小林 信之	大阪教育大学 小路口 真理美